

教育ヴィジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスタで構成されます。ロゴは、6つのクラスタが相互に作用しつつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。7



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



# 第34回定例セミナー： 広島大学平和情報発信演習 『戦争と平和の教育学』 (1)(2)プログラム 報告会を開催しました

活動日時 2020年2月20日(木)

活動従事者 大岡慎治(B1)・森俊輔(B1)・山下光(B1)・藤井結子(B4)・田中真由子(M2)・宅島大堯(D1)  
金鐘成・草原和博



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ヴィジョン研究センター (EVRI)」は、2020年2月20日(木)にカリキュラム研究ユニット・教師教育クラスタに関連して、第34回定例セミナー「The Last 10 Feetの再デザインからの学び—広島大学平和情報発信演習『戦争と平和の教育学』(1)(2)プログラム—」を開催しました。本セミナーでは、広島大学平和情報発信演習『戦争と平和の教育学』(1)(2)プログラムの参加者及び担当教員(社会認識教育学講座: 草原和博教授・金鐘成助教)がその実際と成果について報告しました。

第1部では、2019年9月に米国の博物館が語るラスト10フィートを見学した大学生・大学院生が、その再デザインに取り組んだ活動について報告しました。学生たちはラスト10フィートの

見学から、自らの平和観の解体・再構築と向き合い、日本とは異なる文脈での語りや、日本の中での異なる語り直面しました。その経験を踏まえた上で「自由のための戦争は平和をもたらしたのか」と問いかける再デザインの作成に取り組み、「平和」とは、「戦争」とは何かについて考えました。第2部では、本プロジェクトを立ち上げた草原先生と金先生が、そのねらいと具体的な活動内容及び参加者の学びについて報告しました。各々の参加者は、当初の目的を超えたところで、多様な学びを得ていました。

将来、ヒロシマについて教える責任を担う教師志望者たちが、戦争を直接的には知らない世代が増加するなかで、改めて「平和」や「戦争」をどのように記憶すればよいか、その意味はなにかを問い直す良い機会となりました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ヴィジョン研究センター(EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1  
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

